

社長塾セミナー

銀行との付き合い方入門 貸したい会社になる！

2026年8月20日

新美税務会計事務所
第2監査部 柴崎昭浩

法人や個人事業主が利用できる融資の種類

▶ プロパー融資

銀行などの金融機関から企業へ直接融資を行う融資形態で、信用保証協会の保証を付けずに行う融資です。借入の限度金額が大きく比較的低金利であるという利点があります。その一方で、返済不能の責任を銀行が負うため、厳しい審査が実施されます。

▶ 信用保証協会の保証付融資

公的機関である信用保証協会が保証人となることで、銀行からの融資を受けやすくする融資です。保証付融資では、借主の返済が滞った場合に、借主に代わって信用保証協会が金融機関に立替えを行います。保証付融資は担保や保証人の確保が難しい中小企業や個人事業主にとって有効な選択肢となります。ただし、保証料が必要となるため、総コストを考慮する必要があります。
(参考：一般社団法人全国信用保証協会連合会)

銀行融資の形態について

▶ 証書貸付

借入時に借用証書を作成し、契約に基づいて一定期間内に返済する形態です。一度にまとまった資金を低金利で調達しやすいため**設備投資や一年以上の長期運転資金の調達に適しており**、計画的な返済が可能です。

▶ 当座貸越

事前に設定された限度額内で残高の不足時に随時借入れができる形態です。毎回審査を受ける必要がないため運転資金の調達に適しており、柔軟な資金管理が可能です。しかし、**限度額によっては担保や保証が求められることがあります。**

▶ 手形貸付

借入時に借主が金融機関宛ての約束手形を振り出し、その約束手形を担保にお金を借りる形態です。審査のスピードがスムーズであるため、**一年以内の短期の資金需要に対応しやすい形態**となっています。

信用格付けが融資に与える影響

格付けと融資の関係性

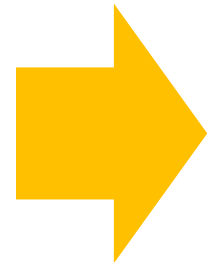
債務者区分	内 容	金 利	担 保	融 資 方 針
正 常 先	業績のよい会社 収益力・財務体質が良好で返済能力が十分にある会社	低金利	無担保	積極的
要 注 意 先 (要注意先)	収益力が低下しており今後の動向に注意が必要な会社	高金利	担保必須	消極的
要 注 意 先 (要管理先)	返済のリスケジュールなど返済条件を緩和している会社	融資対象外	融資対象外	融資対象外
破 綻 懸 念 先	融資の返済が滞っている会社	融資対象外	融資対象外	融資対象外
実 質 破 綻 先	融資の返済が長期間滞っていて再建の見込みが薄い会社	融資対象外	融資対象外	融資対象外
破 綻 先	倒産・民事再生・会社更生適用または破産宣告した会社	融資対象外	融資対象外	融資対象外

決算書から分析する6つの項目

銀行は決算書から企業の6つの項目を分析し、その会社のビジネス力や信用力、返済能力を評価しています。6つの項目を分析するために銀行は毎年、決算書を数値化し査定することで、その企業に対する融資評価を行います。

6つの項目とは

- ▶ 収益性
- ▶ 財務安定性
- ▶ 資金繰り
- ▶ 財務実態
- ▶ 企業体力
- ▶ 貸出リスクの判断

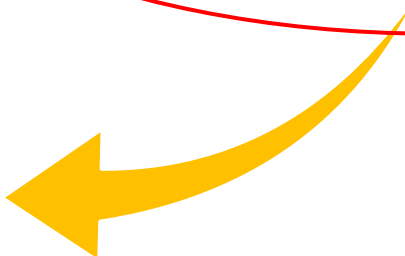


銀行は決算書、資金繰り表、経営者の資質、会社の資産を分析し、融資評価を行う。

決算書 定量評価(数値の査定)

ヒアリング 定性評価(内容・人柄の査定)

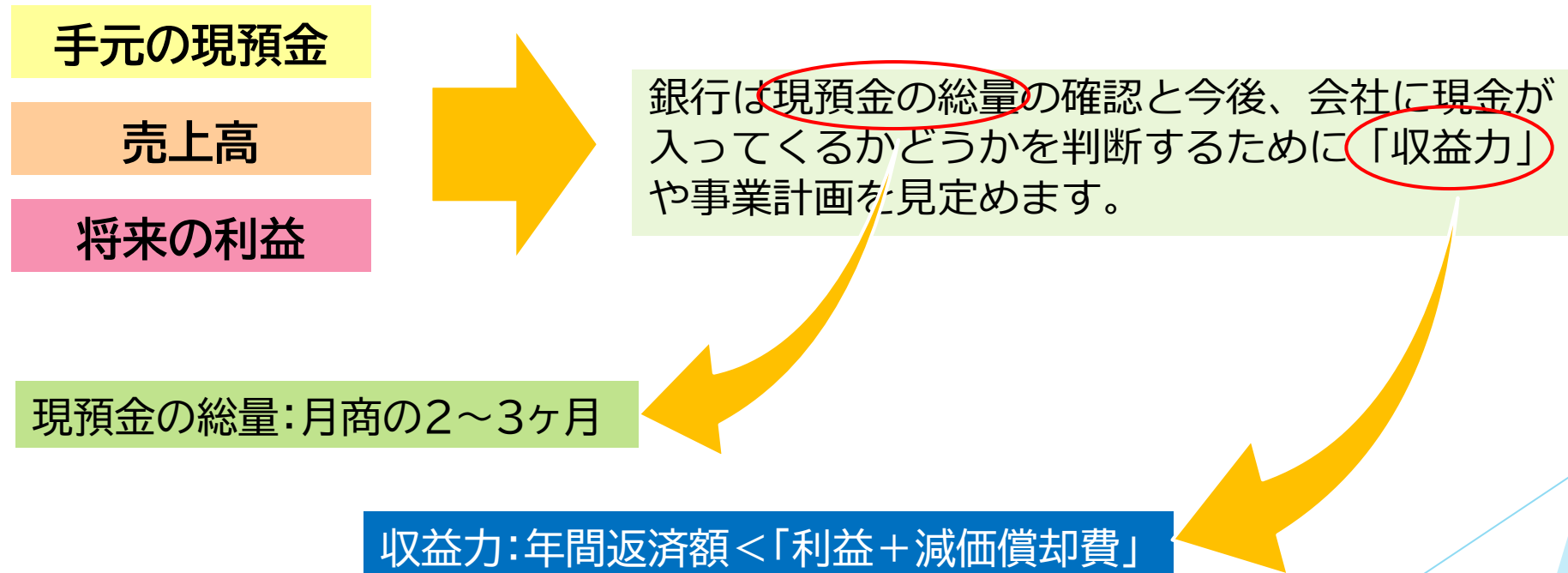
企業の総合力を評価



銀行が重視する項目 6 貸出リスク

銀行は「1.収益性」～「5.企業体力」までを分析し最後に融資した資金が滞りなく返済されるかを判断します。銀行は「融資した資金が返ってくるのか？」という貸出リスクを算出します。ここで重要となるのは3つの返済原資です。

▶ 3つの返済原資



まとめ

- ▶ 銀行の担当者とのコミュニケーションは重要！
- ▶ 自社の業績が数字で語れる経営者になりましょう！
- ▶ 「この社長できるな」と思わせたら勝ち！